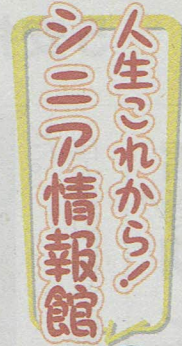




幸 齡 社 会



シニアライフアドバイザー

松本すみ子

女性はいくつになっても、おしゃれをしたいもの。でも、年を重ねると、「着たい服が見つからない」「参考になるファッション誌がない」という不満が募る人も少なくありません。

そこで、ある出版社が60代の女性を主な対象として、ファッション誌を発売し、大ヒット。その世代の女性たちは、若い頃

おしゃれを楽しむ

もファッション誌を参考にしながらジーンズやタンクトップ、ミニスカートを着こなしていたのです。見た目も気持ちも若々しく、流行に敏感。今でも働いている人が多く、こうした雑誌の出版が待ち望まれていたでしょう。

このようなニーズは女性だけではありません。近頃は、リタイアした男性向けのファッション誌も登場。

モデルは、おながが出たちよい太め、白髪や薄毛の男性たち。これまでの「ちよい悪オヤジ」とは、かなり違います。

男女どちらの雑誌でも感じるのは「自然体」であること。最

自然体で夫婦合わせて

近頃は、白髪を真っ黒に染めない「グレーヘア」が流行のよう。手入れされたグレーヘアは、むしろ、すてきに見えるのでしよう。無理せず小きれいで、人格や生き方を感じられるスタイルが大人のファッションです。さらに、夫婦で楽しむおしゃれもあります。ある60代夫婦の

「リンクコーデ」された服装が評判です。これは、ペアルックのように同じものを着るのではなく、どこか1カ所を合わせる。例えば妻が赤のスカートなら、夫はセーターやシャツ、靴下など、どれかを赤にするといいものです。

近頃は、中高年の夫婦が連れ立って街歩きをする姿をよく見かけます。リンクコーデなら、周囲から「気の合ったすてきな夫婦」と思われるでしょう。

おしゃれに気を使うシニアは自身の生き方も積極的なような気がするの、きつと、私だけではないと思います。



Shira.